

平成28年度学校評価の実施状況等の概要

1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	2	1	112	5	26	147

※その他（養護教諭、実習助手、寄宿舎指導員、現業職員）

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員		計
実施人数	3	1		4

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒		計
実施人数	63	32		95

4 学校評価結果の公表方法等

自己評価	①ホームページ	②保護者への配布及び説明会
学校関係者評価	①ホームページ	②保護者への配布及び説明会

5 平成27年度の学校評価を踏まえ、平成28年度改善した点

①自己評価及び保護者アンケートより、「施設・設備の改善」が昨年度より5.4～6.8ポイント改善。トイレや教室の大改造やこれまで必要性を訴え続けた調理設備、空調設備等を設置したことが改善につながっていると考える。

6 平成28年度の学校評価で明らかになった課題

- ①「施設・設備の改善」について昨年度より数ポイント改善しているが、全20評価項目の中で「検討が必要な項目」として突出している。
- ②事務現業職員の18.7%が自己評価で「わからない」と回答しており、それぞれの業務と自己評価の相関が一致していない。
- ③保護者アンケートで、「避難訓練、不審者及び交通安全への対応」で15.9%が「わからない」、「台風等の災害などの対応について、行動マニュアルが知らされている。」で7.9%が「検討が必要な項目」と回答があり、説明責任と十分な安全対策が構築されていなかった。
- ④ICTを積極的に活用した授業づくり。
- ⑤小学部における「総合的な学習の時間」の内容。

7 平成28年度の学校評価を活かした平成29年度の改善点

- ①施設・設備の改善箇所の内容や優先順位等を全職員で共有し、進めていく。
- ②事務現業職員の業務と自己評価の相関を周知を図りつつ、評価項目の妥当性を検証する。
- ③避難訓練、不審者対策、交通安全、災害などについて、PTA役員と連携し、十分な安全対策を構築し、説明責任を果たす。
- ④ICTを積極的に活用した授業づくりに取り組んでいく。
- ⑤小学部における「総合的な学習の時間」の内容の検証と改善。